



TEL 076-611-5155
FAX 076-611-5150
E-mail info@krisouten.com

平成十八年七月二十日
〒九三二〇八〇
高岡市閭屋町四十
有限会社 沖商店発
2006.7.20

いつもお世話になりありがとうございます。

『人は何の為にこの世の中へ生まれて来たのでしょうか』『人生の本来の目的は何なのでしょう』という二つを皆様と一緒に考え、意見を交換し合って、共に研鑽を深めて行きたい。そんな思いで本通信をお届けしている次第です。どうか忌憚の無いご意見をお寄せくださいませ。

一 北朝鮮のミサイル発射事件について

先日、私の友人が「沖さん、近頃は、にこにこ通信のねたに不足することがないでしょう」と言いました。確かに、「最近記事にしたいと思っただけの、感動、憤慨、驚愕を受ける出来事が多くて、どれを取り上げようかと迷うくらいです。」

国内の問題としては『福田日銀総裁の村上ファンドへの出資』『小泉首相の米国をはじめとする世界各地訪問（日本国内各地へも）の意義』『夕張市の破産をはじめ地方自治体の経営』『木下あいらちゃん殺害裁判の判決結果』『医療費不払い問題』『水谷建設の脱税・政治献金・北朝鮮支援団体への援助など数々のあやしい行動』『日銀のゼロ金利政策解除』『我が娘ならびに米山豪憲君殺害の畠山鈴香と秋田県警の劣拙さ』その他、全国的に多発している『自殺・放火・親殺し・子殺し・強盗殺人事件』など、国外の出来事については『北朝鮮のミサイル問題』『インドの同時列車爆破テロ』『イスラエルによるパレスチナ・レバノンへの空爆』スポーツ関係では『サッカーW杯』『ウインブルドンテニス』『中田英寿引退発表』『シダンの頭突き事件』『王監督の手術』『読売巨人軍の惨敗』『イタリアサッカー界の不正事件とスポーツの判定基準』『露鵬の暴行』など、今ちよつと思ひ出されるだけでこれだけあります。

この中で何と言つても「北朝鮮ミサイル発射事件」が花形でしょう。それこそ全世界のメディアで色々な意見・評論が発表されていますが、この事件について私の思うことを記します。

「不謹慎」と言われるかも知れませんが、私は今回の「北朝鮮ミサイル発射事件」をわくわくした気持ちで見守っています。何故なら「北朝鮮には本気で戦争をする気が毛頭ない」と思っからです。

北朝鮮にすれば、自由主義経済下の韓国・台湾、また自国と同じく社会主義・共産主義を掲げながらも、自由主義経済の一部を採り入れたことにより成功している中国・ロシアなど周囲の国々の経済発展の様子を目の当たりにし羨ましく思っているのかと言つて、自国の体制（社会主義・共産主義を唱えながら実際は、金日成・金正日の独裁搾取主義の關係上、自力では破綻している経済復興は望めなため、自分に手を差し延べて欲しい、目を向けて欲しいとの思いが強く、そのくせ自分から頼むのではなく周囲の国から自発的に進んで（借り・負い目を負わずに）助けて欲しいと言つ、いふなれば、おしい、甘えた考え方なのです。

それはちよつと、自分の言い分を聞いて欲しくて駄々をこねて悪びれている子供と同じです。素直に周囲にお願いすれば叶うものを。（いじめに会いながら素直に打ち明けない子供も同様だと思います）

それで、あの手この手で世界の注目をあびる行動をとりますが、すべて、パホームンス・スタンドプレー・駆け引きです。ですから本当は、ほつて置けばいいのですが、尋常な大人の考え方ではありませんから、あまり無視を続けたり追詰めたりすると、いじめに会つている子供が何も打ち明けないまま自殺するように、悪びれた子供がエスカレートしてつと悪いことをするように、取り返しつかない事をしてかす恐れもありますから、適当に騒いでやることも必要かと思ひます。いづれにしろ、あまり正直に、正面きつて相手にならないほうが賢明です。

金正日が本当に北朝鮮人民全体のことを慮るなら先の大戦で日本が敗れ、日本国民全体が辟易している時に、当時の日本国天皇・今は亡き昭和天皇が採られた態度（Ⅱ当時の日本国占領軍の指揮官・マッカーサー元帥の下へ正装してまかり出で「此処に有るのは我が天皇家固有の財産目録です。これをすべて貴方に預けますから、これをどのように使われようと構いません。どうか、今日の目の前にある日本国民の困窮を、貴方の力を以つてお救い頂きたい。先ずは食料と薬を供給頂きたい」と申し出られ、自らを空にし日本国民全体の存続を囿られたⅡ）を自分の一でも見習つて欲しいものと思ひます。

それは無理（次元・レベルが全然異り比べることも恐ろしい）としても、今回の子供のように幼稚で次元な金正日指揮下の北朝鮮の、はつたりとも言えるミサイル発射に対して、彼を「あやす」べく、諸国の反応はなかなか道に入ったもので、その国ごとの役割を、夫々、上手く演じていると思ひます。

即ち、日・米は真つ向から強硬批判、中口は商売も加案して柔らかな批判、韓国は同胞ならではの（国の統一をももくろんだ柔軟政策も含めて）同情批判と各々の国が自国の立場・利益を図つて、今回の「北朝鮮ミサイル発射事件」に対応しています。

これで北朝鮮（金正日）も自国の存在価値を認めてもらつたことに対して満足してくればよいのですが、調子に乗つてさらにその暴行をエスカレートさせてくるのは目に見えています。こゝらで「ちみちみ」（Ⅱ子供を躡ける上での体罰のこと）しておかないと取り返しつかないことになると思ひます。こんな中、一番腹の立つのは「どんな事がある」と戦争だけは絶対に避けなければならない」という大儀を掲げ、そのためには相手の横暴にも譲歩してもよしとする、一見寛大、実は臆病な人たちのもの考え方と、その言動です。それは、自分に面倒が掛からないようにと、やくざにいじめられている人を見つけない振りしている意気地なしと同様です。正義感が薄く自分さえよければ他人がどんな目に遭つていようと構わないという利己主義者です。

この度の事件を軽く受け流さないで、これを良い機会とし、多くの日本人に、もつと日本全体を大切に思ふ心を強くして頂きたいと切に望みます。私が勘ぐる「北朝鮮ミサイル発射」に対する関係五方国（米・日・中・ロ・韓）の思惑。

米国Ⅱ直接自国に対する脅威はないものの、中国・北朝鮮さらにロシアを加えた主義の違つ三方国への封じ込め作戦上の同盟国、日本・韓国・台湾を護るためには、相手方が強くなることは絶対阻止しなければならぬ。ロシア・中国は既得権があり如何にもならないが、中国の子分ともいえる北朝鮮にはこれ以上武力的に強くなつてもらつては困る。時あたかも核保有問題での交渉の最中での今回の事件はとんでもない出来事である。ミサイルの一発でも韓国が日本へ着弾してくれたなら、北朝鮮を空爆する口実ができたものを、残念。とはいへ、自国も今はアフガンに引続きイラク、さらにイランの核保有問題、イスラエルとパレスチナなど、中東紛争問題

に足をとられてるので、これ以上は戦線を拡大したくない思ひもある。

日本Ⅱ北朝鮮の頼りが中国なら日本の頼りは米国米国の言うことなら屁理屈をこねても自衛隊をイラクへ派遣したように徹底追従。韓国・台湾と同様、直接被害を蒙る範囲内にある身であり、さらに北朝鮮に対しては、他国にない恨み「拉致問題」がある。この度の事件には真つ先立つて批判の役を引き受けるのが当たり前でしょう。但、折角厳しい決議書の原案を作成しながら、米国の意向ひとつで、中口の意見と妥協する甲斐性なき（一面融通性が豊富ともいえる）。所詮如何にもならないヤクザ者のやることと覚悟はしているのだが、言わずにおれない。

ロシアⅡ東西冷戦時代に米国と張り合つていた勢いは今はなく、一歩引いて米国に世界の指導権を委ねたお陰で、虚勢を張ることなく自国の関係深い事柄の解決に専念できるようになった。しかし、主義の異なる米国主導で世界が動いているのも不愉快である。自国の掲げる社会主義・共産主義から離れる風潮にある東欧諸国を見るにつけ、中国と北朝鮮のかたを持ちたくなるのは当然。武器売りつけの商売も関係あつて今回の一件については、表では批判、本音は容認。

中国Ⅱ世界の指導権云々は関係ないものの、自由主義経済導入により、近年めざましい発展をしている中、北朝鮮に対する影響力が最も大きく、世界に自国の存在価値をアピールできる格好の出来事である。ロシアと同様、武器売りつけの商売も関係あつて今回の一件については、表では批判、本音は容認。

韓国Ⅱ元々一つだった民族が米ソのために無理矢理別けられ、主義の違いにより相い反目させられ不幸な戦いをしてきた。社会的には、現在の自国が北朝鮮より勝れている事は明白である。何とか北朝鮮の目を覚ませ、一緒に力を合わせて朝鮮民族の発展を期したい。今回の一件に対しても、他の国ほど脅威感はなく、むしろ「下らぬ考えを捨て、早く目覚めてくれ」という憐れみの思ひである。

「邪険と驕慢の悪衆生に於いては、信樂の受持は甚だ以つて難し、難中の難、斯に過ぎたるものは無し」自分の邪険と驕慢がいかに他人に不幸をもたらすか金正日には金輪際理解できないでしょう。

有限会社 沖商店 代表取締役 沖昌弘

個人メール E-mail 06252525@krisouten.com (にこにこ通信への意見をはじめ個人的な連絡は、このアドレスへ)